

MEIJI MURA

明治村だより | 121
2026 SPRING

- 明治村の建築に視る日本近代青春群像物語 (21)
雪国と写真館のロマン
～高田小熊写真館の見どころ …… 2
明治村ロケ地マップ …… 5
花暦 / MEIJIMURA TOPICS …… 6
春の催しもの …… 8
A La Meiji-mura
赤十字燈 —「人道」を示し続けた灯 …… 10
理髪道具の文明開化 …… 11



多摩村字寄方
高橋本屋



明治村みらい基金



私たちの未来を豊かにする「明治」の価値
一緒に残し、伝えていきませんか

歴史的建造物を中心とした「明治時代からの贈り物」を未来に残し続けるためには、多くの資金が必要です。明治村事業へのご支援をお願いします。

ご寄付の方法

明治村みらい基金へのご寄付は、以下の方法で行うことができます。

- ・クレジットカード ・金融機関からの振込
- ・ゆうちょ銀行からの払込

1回3,000円からご支援いただけます(マンスリーサポーターは月額1,000円から)

公益財団法人明治村へのご寄付は一定の「税制控除対象」となります。

詳しくは博物館明治村公式サイト内「明治村みらい基金」をご覧ください。



ご返礼の内容

ご支援額に応じて、感謝の気持ちを込めたご返礼をお届けいたします。

〈返礼品の例〉

【マンスリーサポーター】毎月メールマガジンを配信し、歴史的建造物や歴史資料の修理・保存をはじめとした明治村での様々な活動の様子をご報告いたします。

【年間3万円～】明治村ペア入村券進呈 等

【年間10万円～】現地での活動報告ツアーご招待(建築・学芸・乗務各担当がご案内する特別なツアー)、ご支援者さまの集いご招待(明治村みらい基金1年間の活動報告)、第二のふるさと住民票発行(1年間入村無料) 等

他にも、様々なご支援を募っております

SLオーバーホール基金

現在、明治村で動態保存を行う2両のSL(蒸気機関車)のうち、SL9号が定期的なオーバーホールのため静岡県内の工場へ入っております。貴重なSLを将来に渡り走らせ続けるために、ご支援をお願いいたします。



明治村浪漫募金

1口500円のワンコインからご参加いただける寄付です。ご支援のしるしとして、明治村の建物をデザインした「ピンバッジ」と「カード」をお渡しします。ご来村の思い出として、どうぞお手元にお持ちください。



詳しくは博物館明治村公式サイト内「現在募集している寄付活動」をご覧ください。

協賛会員 (令和8年2月1日現在)

敬称略・五十音順

ゴールド会員

(株)田中荘介商店 東朋テクノロジー(株) (株)ファーストシステム 名鉄都市開発(株) 矢作建設工業(株)

一般会員

- | | | | |
|---|--|--|--|
| アイカ工業(株)
(株)安藤・間
因幡電機産業(株)
(株)NTTファシリティーズ
岡谷銅機(株)
キリンビバレッジ(株)
ココヨマーケティング(株)
(株)ザイマックス
清水建設(株)
(株)扇港電機
(株)タカラレーベン
中京テレビ放送(株)
東洋電機製造(株)
中村耳鼻咽喉科(春日井)
西松建設(株)
(有)ねこりす
(株)ファミリーマート
前田建設工業(株)
三菱電機(株)
名鉄ビルサービス(株)
(株)LIXIL | アサヒ飲料(株)
(株)磯部組
(株)魚津社寺工務店
NTP名古屋トヨペット(株)
(株)オノコム
(株)熊谷組
(株)コトモファーム
佐藤工業(株)
(株)新高土木
ダイキン工業(株)
(株)竹中工務店
中設エンジ(株)
戸田建設(株)
名古屋レジデンシャル(株)
日鉄興和不動産(株)
能美防災(株)
(株)フジタ
(株)みずほ銀行
名高土木(株)
(株)名鉄ホテルホールディングス
(株)リノテック | アサヒビール(株)
(株)伊藤園
NTT都市開発(株)
オーバースタイル(株)
鹿島建設(株)
(株)鴻池組
五洋建設(株)
(株)シーイーテック
スターツ東海(株)
大興建設(株)
(株)谷澤総合鑑定所
鉄建建設(株)
鳥谷尾建築研究所
(有)鍋野事務所
日本たばこ産業(株)
(株)長谷工コーポレーション
(株)不動テトラ
三井不動産(株)
名鉄EIエンジニア(株)
(株)森本組
若松物産(株) | 厚見建設工業(株)
伊藤忠商事(株)
NTT西日本(株)
(株)大林組
(株)関電工
興和地所(株)
(資)齊木研磨工業所
柴山コンサルタント(株)
(株)スペース
大成建設(株)
(株)丹青社
東京海上日動火災保険(株)
(株)中島工務店
(株)二幸
日本郵便(株)
(株)日立製作所
ホーチキ(株)
三菱商事(株)
名鉄エアパートナーズ(株)
(株)ヤシマキザイ |
|---|--|--|--|



「明治村だより」第121号(令和8年春号) 令和8年3月19日発行

発行 博物館明治村 〒484-0000 愛知県犬山市宇内山1番地 電話 (0568)67-0314 <https://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第122号発行のお知らせ

発行時期 令和8年7月予定

「明治村だより」は、順次Webで公開させていただきます。詳しくは博物館明治村公式サイトをご覧ください。

※郵送サービスは終了いたしました。ご了承ください。

表紙について 「引札 豆腐製造商」 年代・作者不詳

一 雪国のロマンチズム

博物館明治村五丁目の奥まった山あいの林に抱かれるようにして、まるでユリの花か、あるいは妖精の館を思わせる愛らしい建物が佇



んでいる。高田小熊写真館（以下、写真館と記す）である。

この写真館の旧所在地である新潟県高田町（現在の上越市）は、鎌倉時代には流罪となった親鸞聖人が五年間ほどを過ごした地であり、国内屈指の豪雪地帯として知られる。雪国の知

明治村の建築に視る日本近代青春群像物語〈21〉

雪国と写真館のロマン

～高田小熊写真館の見どころ

館長 中川 武

恵である「雁木」は、町家の庇を道路側へ延ばしたもので、高田の雁木は総延長十六kmにも及んだと言われている。

二 小熊写真館の開業

この写真館の開業は明治四十一年（一九〇八年）九月二十日のことである。初代・小熊和助は、明治十四年三月、新潟県柏崎町（現在の柏崎市）に、小熊弥三右衛門の次男として生まれた。十七歳のとき、柏崎で写真館を営んでいた兄・弥一郎のもとで写真術の修業を開始。明治三十九年に二十五歳で上京すると、二年間、東京・淡路町の江木写真館において、当時傑出した写真技師と評された渡辺進に師事し、研鑽を積んだ。そして二十七歳で独立し、高田の地で開業の運びに至ったのである。和助が高田を選んだのは、隣接する柏崎出身という地縁に加え、修業先で「大規模な陸軍第十三師団が高田に移駐する」との情報を得、開業を勧められたからだといわれている。数千人に及ぶ隊員の入除隊の記念撮影や、屋外での軍事活動の記録など、当時の写真需要は極めて高かった。和助は目論見通り、第五十八聯隊の御用を賜ることとなる。



写真1 LERCH, Theodor Edler

そして和助は、オーストリア「ハンガリー」帝 国陸軍のレルヒ少佐（写真1）が、日本で初めてスキーを伝えた歴史的瞬間をもフラインダーに 収めている。明治四十四年一月、レルヒ少佐は 高田の第五十八聯隊に招かれ、将校のみならず、その夫人たちへもスキー指導を行った。 日本陸軍がスキー導入を急いだ背景には、明 治三十五年、青森県八甲田山の雪中行軍にお いて、多くの犠牲者を出した未曾有の遭難事 故を経験したからである。冬の機動力確保 が急務となった陸軍は、この悲劇の直後、ノル ウエー国王から明治天皇へ贈られたスキー板 の研究を進め、本格的な技術導入に乗り出して いたのである。和助が撮影した師団長官舎上 棟式の記録写真（写真2）などは、当時の建設現場 を記録する史料として、また写真表現として、 きわめて出色の出来栄と見えよう。



写真2 師団長官舎上棟式

三 小熊写真館の 明治村への移築

明治四十一年の創建以降、この写真館は増改 築を重ね、昭和五十六（一九八二）年に解体され

めか、創建当初と思われる部分のみを移築した（写真3）。その判断の真意は今となっては定か ではないが、移築当初の姿は限定的なもので あった。



写真3 移築当時の高田小熊写真館

平成十三年以降、入口右側に写真処理等を行 うための作業空間、左側に収納スペースが整 えられた状態が、大正末から昭和初期にかけ ての写真館の最盛期の姿であることが写真資 料から明らかとなった。これらは写真館とし ての機能に直結する重要な空間であるため、 旧所有者の寄附を仰ぎ、平成十八（二〇〇六） 年に、古写真をもとにした増築復元に着手、翌 年に竣工した（図1、2）。右側の縦長の三角破風 屋根飾りや、壁面を菱形文様、半円アーチ、縦長 窓枠によって装飾する構成は、移築当時の復原 意匠を踏襲している（図3、4）。

るまで、陸軍なき後の高田で人々の営みを撮り 続けてきた。 昭和五十七年の移築時には、創建以降の建物 の変遷過程が不明であり、明治期の建築として は外観デザインが新し過ぎると考えられたた

さらに平成二十六年には、鉄板屋根や下見板 張等の外装を中心としたメンテナンスが行わ れ、赤と白の非汚染型シリコン塗料によって塗 装された。現在の鮮やかな姿は、旧所有者の 並々ならぬ熱意と相まって、建物のメルヘン チックな印象をより一層強めている。

写真術の起源は、一八三九年にダゲール（註1） によって発表された「銀板写真」に遡る。日本

四 写真技術の変遷と 小熊写真館の意匠

写真館の建物は、バラベット状の木造屋根飾りや縦長の三角破風の屋根飾りなど、装飾的な 様相を呈しているが、この写真館の外観におけ る最大の特徴は、ガラス屋根である。スタジオ に安定した一定の光量を確保するため、北向きの 急勾配の屋根面に沿って設けられた大きな ガラス窓は、スタジオに外光を取り入れるとい う理由だけではないのかもしれない。

ところで、幕末期の志士たちの肖像写真を見 ると、その多くが今にも斬りかからんばかりの 鋭い表情をしている。これは彼らが生死を賭 して生きた時代背景もさることながら、むしろ 「湿板写真」という技法に起因する面が大きい。 湿板写真は露光時間が長く、被写体は撮影中 じつと姿勢を保つ必要があったため、自然と表 情が固まってしまったのであろう。

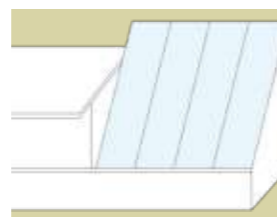


図5 シングル・スラント

へは嘉永年間（一 八四〇年代）に横 浜や長崎に伝えら れ、幕末にはガラ ス板を用いる湿板 写真が普及した。 さらに明治初期に は、「早取写真」の

別名もある「乾板写真」が發明された（註2）。 これら湿板乾板写真は野外撮影を可能にし たが（註3）、室内撮影には依然として安定した 大量の光が必要であった。欧米で「スカイライ ト」と呼ばれるこのガラス窓は、日本では傾斜 を意味する「スラント」と呼ばれ、写真スタジオ 以外にも画室などにも用いられた。

この写真館に見られる「シングル・スラント」 （図5）は、乾板写真の時代においても外光のもと で撮影するという強い志向を示すものである。 しかも雪国という厳しい環境下で、こまめに雪 下ろしを行いながら写真も、外部と連続するか のような明るい内部空間を確保していた事実 は、雪国であるがゆえに未知の世界を望もうと した姿勢の表れとも考えられる。その象徴性 は、スタジオへ導く階段の手摺りや二階の壁面



図1 平成19年3月 1階平面図（■は増築、■は改築）

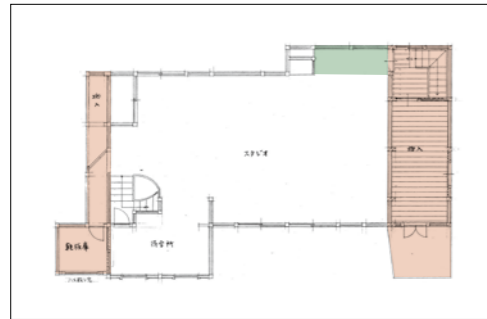


図2 平成19年3月 2階平面図（■は増築、■は改築）



図3 北立面図

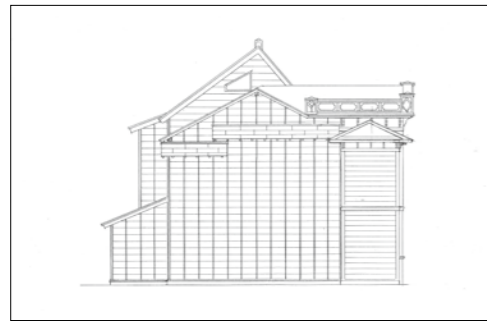


図4 東立面図



明治村ロケ地マップ

5丁目

- 51 聖ザビエル天主堂
【映画】「さよならドビュッシー」【ドラマ】「クロサギ」「わろてんか」「どこにもない国」「半分、青い。」
- 54 天童眼鏡橋
【ドラマ】「半分、青い。」
- 59 内閣文庫
【ドラマ】「坂の上の雲」「二つの祖国」「虎に翼」

- 62 金沢監獄中央看守所・監房
【ドラマ】「半分、青い。」「遺恨あり 明治十三年最後の仇討」
- 67 帝国ホテル中央玄関
【ドラマ】「負けて、勝つ」「花子とアン」「女の勲章」「半分、青い。」「まんぶく」「二つの祖国」【CM】「ロッテ Fit's」【PV】「NERD HEAD feat 西野カナ」



1丁目

- 3 三重県尋常師範学校・蔵持小学校
【ドラマ】「坂の上の雲」「わろてんか」「二つの祖国」「津田梅子～お札になった留学生～」
- 6 聖ヨハネ教会舎
【ドラマ】「どこにもない国」「エール」
- 7 学習院長官舎
【ドラマ】「坂の上の雲」
- 8 西郷従道邸
【ドラマ】「坂の上の雲」「津田梅子～お札になった留学生～」

- 9 森鷗外・夏目漱石住宅
【映画】「劔岳 点の記」「レオニー」「聯合艦隊司令長官 山本五十六」【ドラマ】「負けて、勝つ」「坊っちゃん」「半分、青い。」
- 13 三重県庁舎
【映画】「劔岳 点の記」「曇天に笑う」【ドラマ】「気骨の判決」「坂の上の雲」「遺恨あり 明治十三年最後の仇討」「オリエント急行殺人事件」「坊っちゃん」「女の勲章」「半分、青い。」「二つの祖国」「津田梅子～お札になった留学生～」「虎に翼」「イクサガミ」【PV】「NERD HEAD feat 西野カナ」

4丁目

- SL名古屋駅
【ドラマ】「坂の上の雲」「二つの祖国」
- 食道楽のカフェ前・横
【ドラマ】「白洲次郎」「坂の上の雲」「The Partner ～愛しき百年の友へ～」
- 34 第四高等学校武道場「無声堂」
【映画】「春の雪」「母と暮せば」「謝罪の王様」【ドラマ】「坂の上の雲」「気骨の判決」「15歳の志願兵」「どこにもない国」「二つの祖国」
- 35 日本赤十字社中央病院病棟
【映画】「聯合艦隊司令長官 山本五十六」「春の雪」【ドラマ】「坂の上の雲」「津田梅子～お札になった留学生～」「虎に翼」
- 36 歩兵第六聯隊兵舎
【ドラマ】「わろてんか」「女の勲章」「まんぶく」「二つの祖国」「津田梅子～お札になった留学生～」
- 37 名古屋衛戍病院
【ドラマ】「坂の上の雲」「坊っちゃん」「わろてんか」「まんぶく」
- 43 蒸気機関車 三等客車
【ドラマ】「坂の上の雲」
- 46 宇治山田郵便局舎
【ドラマ】「ごちそうさん」「二つの祖国」
- 49 呉服座
【ドラマ】「坂の上の雲」「わろてんか」「べらぼう～蕨重栄華乃夢断～」

3丁目

- 24 京都市電
【ドラマ】「ごちそうさん」「花子とアン」
- 25 北里研究所本館・医学館
【ドラマ】「花子とアン」「わろてんか」「二つの祖国」「虎に翼」「イクサガミ」
- 26 幸田露伴住宅「蝸牛庵」
【ドラマ】「坊っちゃん」
- 27 西園寺公望別邸「坐漁荘」
【映画】「レオニー」【ドラマ】「坂の上の雲」「わろてんか」「どこにもない国」「まんぶく」

- 68 芝川又右衛門邸
【ドラマ】「オリエント急行殺人事件」

2丁目

- レンガ通り 【ドラマ】「ごちそうさん」
- 15 第四高等学校物理化学教室
【ドラマ】「15歳の志願兵」「二つの祖国」
- 18 東松家住宅
【ドラマ】「The Partner ～愛しき百年の友へ～」
「イクサガミ」

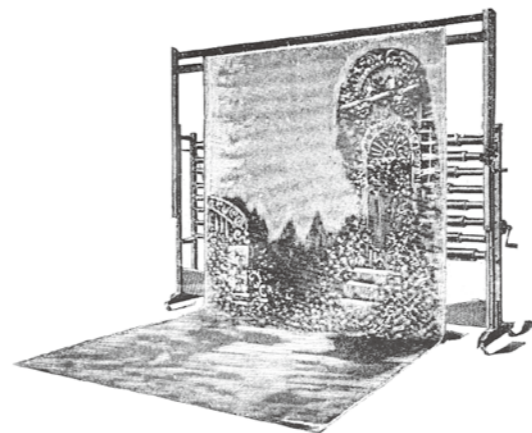


図7 書割掛



図6 托頭器

五 小熊和助という人

この写真館に対する私の関心は、現代の都市にあっても遜色なく、いかにも「文化通り」と呼ばれるような街並みにありそうな、ポップで楽しい外観をもつ小建築が、雪深い高田の街に

に、チューリップの意匠が用いられている点にも見て取れる(写真5、6)。二階へ上がり、振り返った際に尖頭アーチ形の明り取り窓(写真7)が迎えてくれる構成からも背けよう。
和助は、軍隊という確実な需要があった以上に、地方であっても先端的な写真技術を労を惜しまず導入し、明治期の写真術の可能性を深く理解していた人物であった。彼はスラントを設置し、長時間露光のため頭部が動かないように固定する托頭器(図6)を用意したスタジオで、撮影に臨んだ。また、豪華な洋館の室内や異国風景、海岸風景を描いた書割(図7)、さらにスラントに張られた白・黒のカーテン(写真8)を駆使しながら、時間をかけて雪国に生きる人々の憧れを自らのスタジオへと引き寄せようとしたのであろう。



写真10



写真9

昭和後期まで存在していたという事実への驚きから生まれた。もう一つの関心は、和助の肖像写真(写真9)である。この写真の正確な撮影年代は不明であるが、大雪の写真館前で家族と写ったもの(写真10)と見比べると、その精気溢れる佇まいに、驚きというよりも、「こういう元気な老人は地方では珍しくない」という妙な納得感を覚え、より興味がそそられたのだ。
上越出身の日本画家・小村古径の東京都大田区にあった邸宅を故郷へ移築するプロジェクトに関わった縁から、私は幾度となく現在も続



写真5 階段手摺



写真6 2階壁面



写真7 明り取り窓



写真8 2階スタジオ

く小熊写真館で親族に会い、和助の人物像についての話をうかがった。和助は写真術への探究心のみならず、写真業界や街の発展にも尽力した人物であり、その志は子孫にまで大切に受け継がれてきた。博物館明治村第三代村長・小沢昭一氏の父である哲男氏は、小熊写真館で修業し、和助の義妹と結婚している。こうした縁によって生まれた昭一氏と明治村との関係も、和助の存在抜きには語れない。
小熊家の人々が移築後もこの写真館に注いできた並々ならぬ熱意は、和助が写真館に託した思いと情熱が、確かに受け継がれてきた証左である。和助の肖像写真の眼の輝きを永く記憶に留めておきたい。

参考文献
 ① 公益財団法人明治村・博物館明治村「公益財団法人博物館明治村年報」平成8年度～一九九七年
 ② 公益財団法人明治村・博物館明治村「公益財団法人博物館明治村年報」平成26年度～二〇一五年

註一 DACQUERRE, Louis Jacques Mande
 註二 参考文献③より
 註三 湿板写真の場合は、野外で撮影するには撮影機材一式が必要であった。

MEIJIMURA TOPICS

2025.12-2026.4

1/22~5/17 デンマークの「ルイジアナ近代美術館」に資料を貸出しました

デンマーク・コペンハーゲン近くにあるルイジアナ近代美術館で行われている「Architecture Connecting II: Memoryscapes」展にて、建築家・田根剛氏の建築設計事務所 ATTA (Atelier Tsuyoshi Tane Architects) の展示が開催されています。田根氏は2036年完成予定の帝国ホテル東京のデザインアーキテクトへの就任が決定しており、帝国ホテルのプロジェクトに関する展示にて、明治村所蔵の帝国ホテルライト館の解体材を出品しています。

プロジェクトの構想過程を示すリサーチ資料と模型の展示

12/20~1/31 「郷土玩具展「午」~2026年もウマくいく~」を開催

北里研究所本館・医学館の2階で、今年の干支である「午」にちなみ、明治村所蔵の馬の郷土玩具にスポットを当て、郷土玩具に込められた想いや各地の風土をご紹介します。会場では、「三春駒(複製)」に実際に跨れるフォトスポットも設置しました。



1/2~31 「日本各地の門松・しめ縄めぐり」を開催

移築建造物の旧所在地にちなんだ門松9箇所、しめ縄18箇所を設置しました。併せて、各所の正月飾りについて学びながら周遊できるワークシートを配布しました。また、1月2日から12日まで、芝川又右衛門邸の床の間の正月飾りについてのガイドを行いました。



1/31~4/5 「春を告げる人形の彩り~明治村のひな祭り~」を開催しています

三重県庁舎1階にて、明治村所蔵の「ひな祭り」にまつわる資料を展示しています。ひな人形の原点とされる「流しびな」をはじめ、多様な「ひな人形」の形をご紹介します。



これまで刊行した「明治村だより」をwebで公開しています

明治村の公式ホームページの「各種アーカイブ」のページ (<https://www.meijimura.com/archive/meijimura-dayori/>)にて、過去の「明治村だより」のPDFデータを順次公開していますので、ぜひご覧ください。



花暦 3月~7月



日本赤十字社中央病院病棟とサクラ



SL東京駅とアジサイ



三重県庁舎とレンギョウ



高田小熊写真館とユキヤナギ



SLとウメ



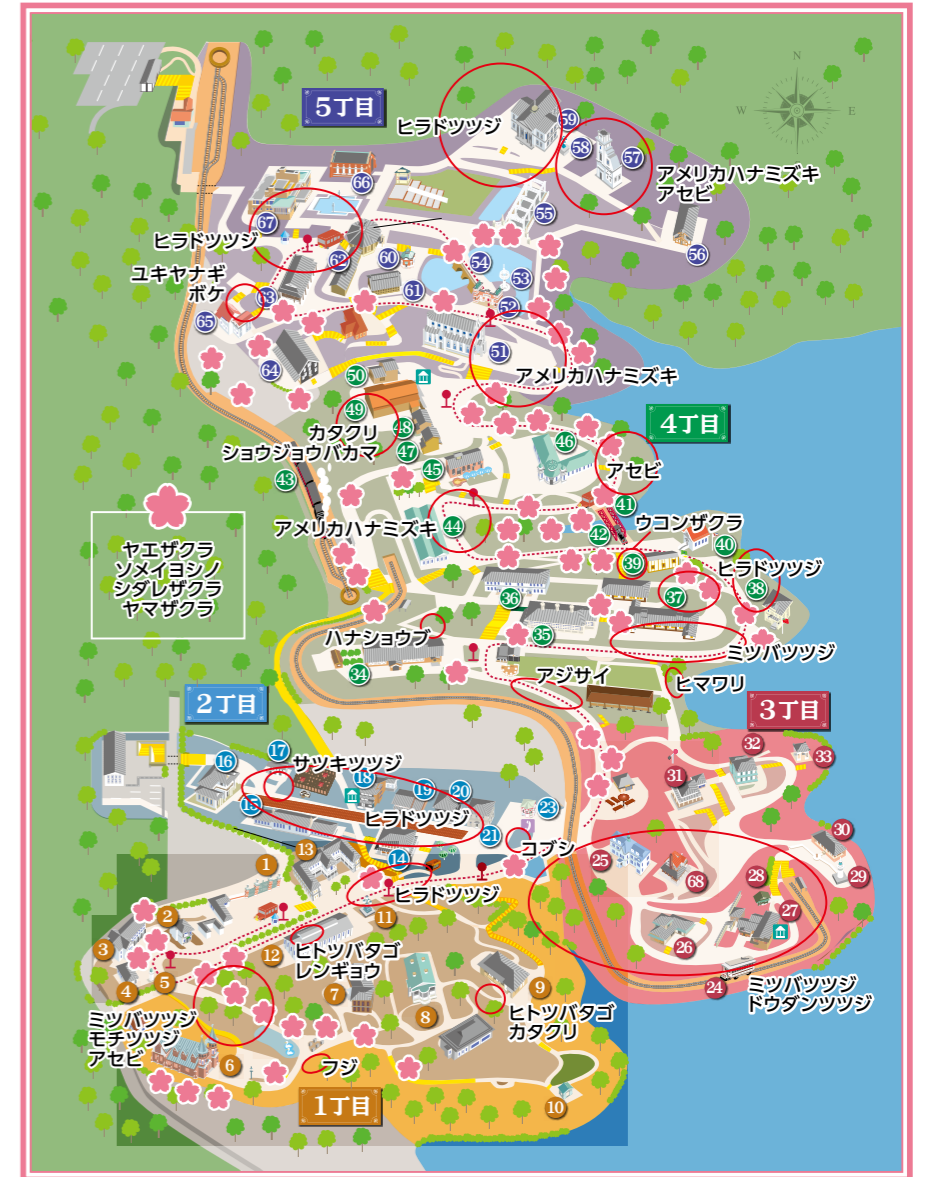
聖ヨハネ教会堂とサクラ



三重県庁舎とヒトツバタゴ



聖ザビエル天主堂とアメリカハナミズキ



カタクリ ウコンザクラ レンガ通りとツツジ

明治村花暦 ※平年の開花状況です

月	3月			4月			5月			6月			7月			
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
アセビ																
コバノミツバツツジ																
シダレザクラ																
ヤマザクラ																
ソメイヨシノ																
ショウジョウバカマ																
カタクリ																
ボケ																
コブシ																
モクレン																
レンギョウ																
ユキヤナギ																
ヤエザクラ																
ウコンザクラ																
ドウダンツツジ																
モチツツジ																
サツキツツジ																
アメリカハナミズキ																
ヒラドツツジ																
フジ																
ヒトツバタゴ																
ハナショウブ																
アジサイ																
ヒマワリ																

炭治郎たちと協力して、事件を解決せよ!!

あなたは鬼殺隊の新米隊士。ある日、鎧冢から指令が届いた。「伝令!! 伝令!! 明治村で事件発生ッ!! 現場へ急行シ解決セヨ!!」 さあ、隊士として任務に挑み、炭治郎たちと協力して明治村で巻き起こる事件を解決しよう!

謎解きゲーム

スタンプラリー

クイズラリー

アトラクション

その他、コラボゲームやコラボグッズなどアニメ「鬼滅の刃」×博物館 明治村を楽しめる各種イベントを開催。詳しくはコチラ! ▶



©吾峠呼世晴 / 集英社・アニプレックス・ufotable

6/13(土) オープン!!

GEKKEN道場

明治初期に流行した、剣術の試合を見世物として行っていた「撃剣興行」。その試合に出場する撃剣興行士を育てる稽古場をイメージした「GEKKEN道場」がオープン!



体験料 1回 500円*

会場 歩兵第六聯隊兵舎2F

楽しみ方

1 受付で受け取った稽古札をスイッチに差し込みゲームスタート!

2 ランダムに光る人物パネルの光を狙い、ウレタン製の竹刀風の棒で叩け!

3 制限時間は30秒! 点数に応じて階級を表示(5段階)!

4 稽古札を返却して景品をゲット!

明治謎解きアトラクション STORY

江戸川乱歩と 不可解な残像

5年前に明治新聞社を襲った悲劇の末、3人は一度袂を分かつことになった。新聞社を去った金之助、新天地へ旅立った太郎、新聞社を守り続けた春子。これは“不可解な残像”に至る、5年の空白に起きた3つの物語——。

6.13 Sat. >> 7.26 Sun.

チェンバロと 歴史的ピアノの調べ

3/22(日)

第1回シヨパン国際ピリオド楽器コンクールで第2位を受賞するなど、国内外で活躍する川口成彦氏が、ピアノの前身であるチェンバロと20世紀前半に製造されたピアノを演奏します。

時間 ①11:30~ ②14:30~ (各回約40分)

会場 聖ザビエル天主堂

出演 川口成彦(ピアノ、古楽器奏者)

明治偉人隊の「本郷喜之床」ガイド

4/11(土)~13(月)



4月13日は明治の詩人・石川啄木の忌日。「本郷喜之床」の見学制限箇所を明治偉人隊がご案内します。

受付時間 ①11:00~12:30 ②14:00~15:30

会場 本郷喜之床

ゴールデンウィーク・ショー

※雨天時は呉服座に会場を変更して開催します。

時間 ①11:30~ ②14:30~

会場 帝国ホテル中央玄関前芝生広場

マサトモジャ 5/2(土)・3(日)・祝

独特な佇まいと絶妙な間合いで不思議な一体感を作り上げます。誰もが楽しめるショーをご堪能ください。

Entertainer Hi2(ヒッツ) 5/4(月・祝)~6(水・振替)

マジック、ダンス、ジャグリングにコメディを融合させたパフォーマンスで笑いと感動をお届けします。

春の呉服座公演

時間 ①11:30~ ②14:30~ 会場 呉服座

※イベント開催日は呉服座の建物ガイドを終日中止させていただきます。

イリュージョニスト DAIKI 6/13(土)・14(日)

国内外で数々の賞を受賞する実力派イリュージョニスト! 観客参加型の思い出に残るステージをお届けします。

シルヴレ 6/20(土)・21(日)

国際的に活躍する「愛と笑い」がテーマのパantomimeユニット。時にシュールな舞台はクセになること間違いなし!

体験工房 オリジナル 香り袋をつくろう!

4/4(土)・5(日)、18(土)・19(日)



明治の人々にも親しまれていた「香り」の文化。ラベンダーやローズマリーなどのハーブからお好きな「香り」を選び、オリジナルの香り袋をつくろう!

受付時間 10:30~16:00(体験時間20分程度)

参加料 1キット 1,000円*

会場 名鉄岩倉変電所

事前 応募制

星野高士先生と詠む 明治村吟行句会

6/9(火)開催!



鎌倉虚子立子記念館館長として俳句の研究や創作で活躍されている俳人・星野高士氏をゲストに迎え、俳句の魅力について阿川村長、中川館長とともに語り合います。当日参加者の方には、明治村を巡って詠んだ句を投句していただき、選句および講評を行います。

応募方法

応募

右記の二次元コードよりご応募ください。

締切 2026/5/8(金)



※2名様までご応募可能(同伴者様の記載がない場合は1名様での応募とさせていただきます)。 ※当選発表は、当選者様へのご案内の送付をもってさせていただきます。

星野 高士 (俳人、鎌倉虚子立子記念館館長)

阿川 佐和子 (明治村村長) 撮影・伊木 功

中川 武 (明治村館長)

事前 予約制

スタッフの“推し”建物ガイド

普段ガイドを行っていない建物や非公開資料などを組み合わせたスタッフのイチオシをご案内します。

建物 帝国ホテル中央玄関 6/19(金)~22(月)

建物 森鷗外・夏目漱石住宅 7/3(金)~6(月)



実施時間 ①10:30~ ②13:30~ (各回約90分) 参加料 お1人様700円 (各回15名様)

詳細・予約

ご予約等については下記の二次元コードよりご確認ください。



事前 予約制

第四高等学校武術道場「無声堂」的場 修理現場見学会

茅葺き替え中の第四高等学校武術道場「無声堂」の弓道場の場を修理技術者が特別にご案内します。 ※雨天時はご案内内容を変更する場合があります。

4/25(土)、5/9(土)

時間 ①11:00~ ②13:30~(各回約45分)

参加料 お1人様1,500円 (各回20名様)

対象 高校生以上

詳細・予約

右記の二次元コードよりご確認・ご予約ください。



事前 予約制

明治村茶会 4/12(日)・13(月)

歴史的建造物を用いて開催するお茶会です。どなたでもお気軽にお申し込みいただけます。

席主

・坐漁荘・亦楽庵席(濃茶) 野村美術館
・学習院長官舎席(薄茶) 八勝館
・聖ヨハネ教会堂席(立礼) 狸庵文庫美術館

参加料

お1人様 25,000円(茶席3席、点心、模擬店)

予約

TEL:0568-67-0314

「明治村茶会」係まで

※明治村公式HPからもお申し込みいただけます。 ※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。



※写真・イラストはすべてイメージです。 ※イベント内容は予告なく変更・中止する場合があります。 ※料金はすべて税込みです。 ※◎マークのある参加料・体験料のお支払いは現金のみになります。 ※一部イベントのご参加には参加料等が必要です。 ※すべてのイベントに対し別途入場料が必要です。

各イベントの詳細は、明治村公式HPをご覧ください。



赤十字燈 —「人道」を示し続けた灯

4丁目35番地 日本赤十字社中央病院病棟

り、赤十字社をはじめとする許可された組織のみが使用できるものです。

しかし、紛争地域等においては赤十字マークを印した旗などは昼間は有効である一方、夜間には視認が難しいことから、夜間でも赤十字の存在を示す役割をしたのがこの「赤十字燈」(写真1)です。

赤十字燈は、史料(註3)によると、角灯形の火袋・蠟燭立て・丸打紐・滑車つきの螺旋(写真2)などで構成されており、明治村で展示しているものもこれに合致します。これは、把手つきのコンパクトな

四角い木箱にすべて納められ、携帯性に優れています(写真4)。火袋は、赤十字マークが表されたガラス板が四面に嵌められ、一面は扉になっており、開閉することができ、一面は扉になっており、開閉することができ、ガラスの前面にある弓状の金属線は、ガラス板の保護材で、木箱に格納する際に折り畳むことができ

ます。光源は蠟燭で、火袋下部から真鍮の蠟燭立てを差し込んで固定します。この蠟燭立ては内部にバネが収められており、蠟燭が燃えて短くなるにつれて押し上げられ、常に一定の高さで炎が灯り

続けるよう工夫されています(写真5)。この赤十字燈は、先述の滑車付きの螺旋釘を木材にねじ込み、丸打紐を滑車に懸けて目立つところに掲げて使用しました(図1)。夜間に赤十字旗とともに掲げること

で赤十字マークの視認性を高める効果がありました。

もつとも、赤十字燈や赤十字旗が掲げられているからといって、必ずしも安全が保障されるわけではありません。赤十字標章が本来の意味を持つためには、それが「攻撃してはならない印」であるという認識が、敵味方双方に共有されている必要があります。明治期の日本は、明治十九(一八八六)年のジュネーブ条約への加盟を通じて、戦時における人道的原則を国際社会と共有する立場を選びました。暗闇の中に掲げられた赤十字燈は、人命を救うという意思と、国際法に基づく救護の場がそこにあることを、絶えることなく示しているのです。



図1 参考文献(3)より

屋根の上の換気塔やレースを思わせる軒飾り。瀟洒な佇まいの日本赤十字社中央病院病棟の内部は、長い廊下の北側(註3)に病室と看護婦詰所が連なり、病室の再現や日本赤十字社の歴史、戦時救護に用いられた器具類、建築的特徴等を展示しています。今回は戦時救護の展示の中から「赤十字燈」にスポットを当ててご紹介します。

白地に赤い十字を配した標章、この「赤十字マーク」が持つ意味をご存知でしょうか。赤十字マークは、「紛争で傷ついた人びとを救護する軍の衛生部隊や赤十字の救護員・施設等を識別するためのマーク(註3)」であり、紛争地域等で赤十字マークを掲げている場所や救護員は攻撃してはいけないと、国際的な取り決め、ジュネーブ条約によって定められています。そのため使用方法は厳格に定められてお



写真1 展示中の赤十字燈



写真2 火袋の一面を開けた状態もしくは火袋内部の様子



写真4 木箱



写真5 蠟燭立ての構造



写真3 螺旋釘と丸打紐



理髪道具の文明開化

4丁目47番地 本郷喜之床

せたのが、軍隊を中心需要が増した「坊主刈り」です。当時の軍の規定には、「毎月一回或ハ二回頭髪ヲ剪ルヘシ。頭髪ハ頭腦ヲ保護スルニ緊要ノモノナレハ適宜ニ延ハスヘキモノト雖モ、前頭二寸、後頭一寸ヨリ長クスルヘカラズ」(註3)と記されています。電動道具などない当時、長い髪をハサミ一本で均一に刈り込むのは至難の業でした。一人を仕上げるにも膨大な時間と技術を要し、理髪師の手指に負担がかかっていた

この窮地を救ったのが、明治十六(一八八三)年にフランスからもたらされたバリカンでした。在フランス日本公使館書記官・長田銈太郎が紹介し、東京の理髪



写真1 店内の様子



写真2 「風俗画報」第十八号(1890年)



写真4 片手式バリカン

写真3 両手式バリカン

と、バリカンは瞬間に全国の理髪店へ広がりました。戦前までは両手式、片手式の両方が見られましたが、やがてハサミと同じように櫛と連携ができる片手式が主流となり、現在の電動バリカンへと進化を遂げていきます。

本郷喜之床に展示されているバリカンは、単なる効率化の象徴ではありません。新しい時代の要求に応えようとした理髪師を支え、現在の日本の理髪文化を切り拓いた文明開化の象徴なのです。

石川啄木が二階に下宿していたことで知られる本郷喜之床は、町家の様子を今に伝える明治末期の理髪店です。店前に掲げられたサインポールや、理容椅子(写真3)とともに、人々の目を引くのが当時の理髪道具です。中でも明治時代中期に登場し、理髪師の相棒となった「バリカン」には、新時代に適応しようとする奮闘した理髪師の苦勞が詰まっています。

明治初期、断髪令によって人々の髪型が丁髷から散髪へと変わる中、職人はそれまでの「結う・剃る」を主とした「髪結い」から、髪を「切る」ことで形を作る「理髪師」への転身を求められました(写真2)。さらに散髪が普及した後、理髪師を悩ま

註一 参考文献(1) 第九章 下士及兵卒室内起居ノ定期二十七条による

註二 当時の散髪料金は一人約五銭

参考文献

- (1) 陸軍省 一八八〇年『歩兵内務書 第三版』
- (2) 重枝武夫・石川徳治 編 一九五五年『理容美容 風俗史(日本篇)』東京公衆衛生技術学校
- (3) 岡本誠之 一九五九年『鉄』東京：えんらく社
- (4) 社団法人日本理容美容教育センター 一九七〇年『理容現代史』